

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3542524号

(P3542524)

(45) 発行日 平成16年7月14日(2004.7.14)

(24) 登録日 平成16年4月9日(2004.4.9)

(51) Int. Cl.⁷

F I

A 6 1 L 9/01

A 6 1 L 9/01

F

A O 1 N 25/00

A O 1 N 25/00

1 O 1

A O 1 N 59/00

A O 1 N 25/00

1 O 2

A 6 1 L 2/18

A O 1 N 59/00

Z

A 6 1 L 2/26

A 6 1 L 2/18

請求項の数 1 (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平11-205337
 (22) 出願日 平成11年7月19日(1999.7.19)
 (65) 公開番号 特開2001-29442(P2001-29442A)
 (43) 公開日 平成13年2月6日(2001.2.6)
 審査請求日 平成12年7月19日(2000.7.19)

(73) 特許権者 599101092
 富村化学工業株式会社
 京都市伏見区桃山町伊庭18番地の2
 (73) 特許権者 599101106
 林 伯芳
 京都市左京区浄土寺真如町10-2 グリ
 ーンヒルズ301号
 (74) 代理人 100074594
 弁理士 木下 憲男
 (72) 発明者 富村 二郎
 京都市伏見区桃山町伊庭18番地の2

審査官 谷尾 忍

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 消臭、腐敗防止又は除菌用薬物体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

安定化二酸化塩素水溶液1を入れて密封したアルミニウムを薄く紙のようにのばしたもので密封袋体2を形成し、更に不織布等の微細で無数の連通孔を備えた表布3の裏面に、通気性を有すると共に水分を通さない性質を備えた合成樹脂シート4を積層した生地5で袋体6を形成し、又更に袋体6内にN-ビニルアセトアミド重合体架橋物、ケイ酸カルシウム又はその他安定化二酸化塩素水溶液を吸収出来る物などの賦活剤7と前記密封袋体2を入れたと共に安定化二酸化塩素水溶液1が50グラムに対し賦活剤7を5グラムの割合で袋体6を密封し、且つ安定化二酸化塩素水溶液1を入れて密封した密封袋体2は、周縁を接着した接着縁部12を設けると共に接着縁部12の幅よりも小幅の開口縁部9を形成して押圧によって開口縁部9を開口して密封状態を破壊することができるように形成したことを特徴とする消臭、腐敗防止又は除菌用薬物体

10

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

この発明は微量のガスを放出して消臭、殺菌、防カビ、鮮度保持等に使用して好適な消臭、腐敗防止又は除菌用薬物体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来から安定化二酸化塩素水溶液を用いて農家のハウス栽培の害虫駆除、細菌殺滅、病気

20

予防、その他各使用箇所に応じて殺菌、除菌、消臭、鮮度保持等に使用する多種多様の消臭、腐敗防止又は除菌用薬物体は知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする問題点】

ところで、従来の安定化二酸化塩素水溶液を用いて農家のハウス栽培の害虫駆除、細菌殺滅、病気予防、その他各使用箇所に応じて殺菌、除菌、消臭、鮮度保持等に使用する消臭、腐敗防止又は除菌用薬物体は使用手段を誤れば植物を枯らし、又は安定化二酸化塩素水溶液が人体に付着して被害を起こすおそれがあり、使い勝手が悪く、更に操作が不便でありその取り扱いを慎重に行わなくてはならないなどの欠点があった。

【0004】

この発明は上記の問題点を解決したものであつて、構造が簡単で複雑な操作を必要とせず取り扱いが容易であると共に簡便に使用が出来るもので、使い勝手が良く、使用便利な消臭、腐敗防止又は除菌用薬物体を得ることを目的としたものである。

【0005】

【問題点を解決するための手段】

上記の目的を達成するためにこの発明は、安定化二酸化塩素水溶液 1 を入れて密封したアルミニウムを薄く紙のようにのばしたもので密封袋体 2 を形成し、更に不織布等の微細で無数の連通孔を備えた表布 3 の裏面に、通気性を有すると共に水分を通さない性質を備えた合成樹脂シート 4 を積層した生地 5 で袋体 6 を形成し、又更に袋体 6 内に N - ビニルアセトアミド重合体架橋物、ケイ酸カルシウム又はその他安定化二酸化塩素水溶液を吸収出来る物などの賦活剤 7 と前記密封袋体 2 を入れると共に安定化二酸化塩素水溶液 1 が 50 グラムに対し賦活剤 7 を 5 グラムの割合で袋体 6 を密封し、且つ安定化二酸化塩素水溶液 1 を入れて密封した密封袋体 2 は、周縁を接着した接着縁部 12 を設けると共に接着縁部 12 の幅よりも小幅の開口縁部 9 を形成して押圧によって開口縁部 9 を開口して密封状態を破壊することができるように形成したものである。

【0006】

【実施例】

以下図面についてこの発明の実施例を説明すると、アルミニウムを薄く紙のようにのばしたもので気体、水分を通さない袋に安定化二酸化塩素水溶液 1 を入れて密封した密封袋体 2 を形成したものである（図 1、図 2 参照）。

【0007】

又不織布等の微細で無数の連通孔を備えた表布 3 の裏面に、通気性を有すると共に水分を通さない性質を備えた合成樹脂シート 4 を積層した生地 5 で袋体 6 を形成したものである（図 1 ～ 図 5 参照）。

【0008】

又袋体 6 内に N - ビニルアセトアミド重合体架橋物、ケイ酸カルシウム又はその他安定化二酸化塩素水溶液を吸収出来る物などの賦活剤 7 と安定化二酸化塩素水溶液 1 を封入した密封袋体 2 を入れると共に安定化二酸化塩素水溶液 1 が 50 グラムに対し賦活剤 7 を 5 グラムの割合で袋体 6 の周縁部 14 を接着して密封したものである（図 1、図 2 参照）。

【0009】

又安定化二酸化塩素水溶液 1 を入れて密封した密封袋体 2 は図 6 に図示したように指先 13 による押圧によって開口することが容易確実にできるように密封袋体 2 の周縁を接着した接着縁部 12 の幅よりも小幅の開口縁部 9 を形成し、該開口縁部 9 を開口して密封状態を破壊することができるように形成したものである（図 3、図 6、図 7 参照）。

【0010】

又密封袋体 2 は押圧によつての密封状態を破壊することで賦活剤 7 に対する二酸化塩素水溶液 1 の浸透によつてゼリー状体 8 が形成されるようにしたものである（図 3、図 4、図 6、図 7 参照）。

【0011】

又使用場所、例えば便所等に於いては「ヒノキ」の匂いがする香料を僅かに賦活剤 7 に混

10

20

30

40

50

入しておくことによって「ヒノキ」の匂いがする消臭を行うことができるものである。

【 0 0 1 2 】

又実験の結果安定化二酸化塩素水溶液 1 が 5 0 グラムに対し賦活剤 7 を 5 グラムの割合で混合させたものがガスの拡散が好適で 2、3 か月に亘り効果を良好に持続させることができたものである。

【 0 0 1 3 】

【発明の作用効果】

この発明は以上のような構成であり、安定化二酸化塩素水溶液 1 と N - ビニルアセトアミド重合体架橋物、ケイ酸カルシウム又はその他安定化二酸化塩素水溶液を吸収出来る物などの賦活剤 7 とを混合してゼリー状体 8 が形成された状態の袋体 6 を所望の位置、即ち農家のハウス栽培時のハウス内、便所内、野菜、果物等の保存又は遺体の保存の為等に使用するものであるが、使用に際しては袋体 6 から微量の安定化二酸化塩素水溶液 1 のガスが数か月に亘って放出され消臭、殺菌、防カビ、鮮度保持等の作用を行うものである。

10

【 0 0 1 4 】

又安定化二酸化塩素水溶液 1 を入れて密封したアルミニウムを薄く紙のようにのばしたもので密封袋体 2 を形成し、更に不織布等の微細で無数の連通孔を備えた表布 3 の裏面に、通気性を有すると共に水分を通さない性質を備えた合成樹脂シート 4 を積層した生地 5 で袋体 6 を形成し、又更に袋体 6 内に N - ビニルアセトアミド重合体架橋物、ケイ酸カルシウム又はその他安定化二酸化塩素水溶液を吸収出来る物などの賦活剤 7 と前記密封袋体 2 を入れると共に袋体 6 を密封し、且つ密封袋体 2 の押圧によって密封状態を破壊することができて賦活剤 7 に対する安定化二酸化塩素水溶液 1 の浸透によってゼリー状体 8 が形成されるようにしたことによって安定化二酸化塩素水溶液 1 と賦活剤 7 とが分離されていて使用時にガスを発散するゼリー状体 8 とすることで消臭・殺菌等に好適なガスを数か月に亘り放出できて極めて経済的であり、又人体に安定化二酸化塩素水溶液が直接触れて支障を与えることがなく使用状極めて安全で衛生的である。

20

【 0 0 1 5 】

又安定化二酸化塩素水溶液 1 を入れて密封した密封袋体 2 は図 6 に図示したように指先 1 3 による押圧によって開口することが容易確実にできるように密封袋体 2 の周縁を接着した接着縁部 1 2 の幅よりも小幅の開口縁部 9 を形成し、該開口縁部 9 を開口して密封状態を破壊することができるものである。

30

【 0 0 1 6 】

又安定化二酸化塩素水溶液 1 が 5 0 グラムに対し賦活剤 7 を 5 グラムの割合で混合させたのでガスの拡散が好適で 2、3 か月に亘り効果を良好に持続させることができたものである。

【 0 0 1 7 】

又構造が簡単で大量生産に適し安価に提供できる等の幾多の産業的効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】一部を切欠した正面図である。

【図 2】図 1 に於ける A - A 断面図である。

40

【図 3】ゼリー状体を形成した状態の正面図である。

【図 4】図 3 に於ける B - B 断面図である。

【図 5】図 4 に於ける A 部の拡大面図である。

【図 6】ゼリー状体の形成状態を示した説明図である。

【図 7】密封袋体の一部を切欠した正面図である。

【符号の説明】

1 安定化二酸化塩素水溶液

2 密封袋体

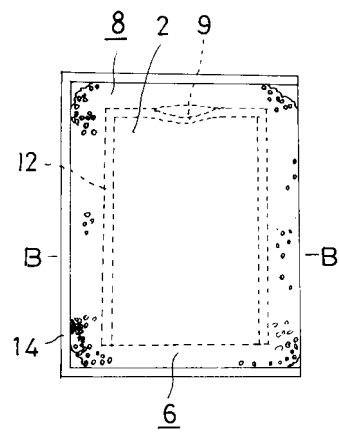
3 表布

4 合成樹脂シート

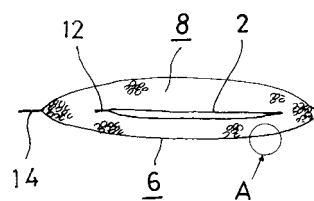
50

- 10

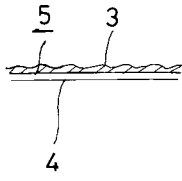
【 図 3 】



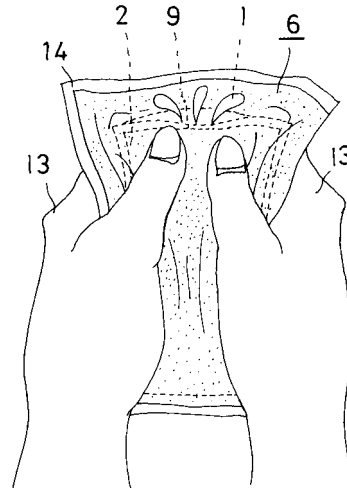
【 図 4 】



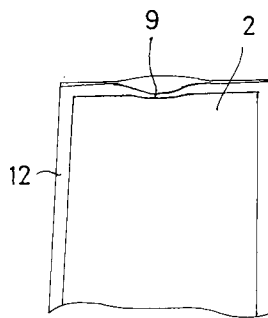
【 図 5 】



【 図 6 】



【 図 7 】



フロントページの続き(51) Int.Cl.⁷

F I

B 6 5 D 81/28

A 6 1 L 2/26

A

B 6 5 D 81/32

B 6 5 D 81/28

C

B 6 5 D 81/32

C

(56)参考文献 特開2000-211901(JP, A)
特開昭59-189855(JP, A)
登録実用新案第3040854(JP, U)
実開平03-126143(JP, U)
登録実用新案第3051236(JP, U)
特開平11-071572(JP, A)
特開平02-051581(JP, A)
実開平03-070137(JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl.⁷, DB名)

A61L 9/00-9/22

A01N 25/34

A23L 3/358